

お使いになるまえに～安全のために必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。以下の表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

本書に記載する記号について



警告

誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性、または物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

表示の例



注意

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図のなかには具体的な注意内容(左図記号の場合は高温注意)が描かれています。



禁止




⊘記号は禁止行為であることを告げるものです。図中やその周辺に具体的な禁止内容(左図記号の場合は分解禁止)が描かれています。







指示

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図のなかには具体的な指示内容(左図記号場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> 交流 100V 以外の電源では使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。 電源コードに傷をつけたり、上に重いものをのせたり、強く引っ張りしないでください。感電や火災のおそれがあります。 機器の内部に燃えやすいものや、金属などを入れてください。また、水などをかけないでください。感電や火災のおそれがあります。万一、異物が入ったり、水がかかり動作をしない場合は、すぐに使用を中止して、販売店または当社営業担当にご連絡ください。 電源コードを高温部に近づけないでください。コードの被覆が溶けて感電や火災のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> 機械の分解、改造は絶対におこなわないでください。感電や火災のおそれがあります。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> 使用中に本体から煙がでたり、異臭、異音があるなどの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または当社営業担当にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。 機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。これを怠ると感電の原因になります。 電源プラグを抜くときは、必ず本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードに傷がついて感電や火災の原因になります。 ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。 お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。これを怠ると感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機を直射日光の当たるところや、冷暖房器の近く、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がると、火災の原因になります。 本機を水、油、薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。 本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因になります。 本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いておかないと火災の原因になります。 本機を移動させる場合は、本体台座部分を持ってください。台座部分を持たずに移動すると、事故や故障の原因になります。

お願い	
	<ul style="list-style-type: none"> 変色や変形、故障の原因になりますので本機を科学ぞうきん、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤で絶対にふかないでください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞ってからふいて、その後乾いた柔らかい布で水分をふきとってください。水洗いは絶対にしないでください。 本機を落としたり、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

登録商標について

- Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、iMac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- IBM PC、XGA、SVGA、VGA は、International Business Machines Corporation の登録商標です。

米連邦通信委員会声明 (Class A)



注意- 本装置は FCC 規則 Part15 に従う Class A のデジタルデバイスの制限値に適合していることがテストにより確認されています。それらの制限は装置を住居環境で使用した場合に有害な干渉の発生を適度に防止することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、および放出しています。指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置によって干渉が発生しないという保証はありません。本装置によってラジオまたはテレビ受信に装置の ON/OFF によって確認できる有害な干渉が発生した場合、ユーザーは以下のいずれか、または複数の対策を講じてください:

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオビデオの専門技術者に問い合わせる。

Class A ITE:

Class A ITE は、Class B ITE の限度値を満足せず、Class A ITE の限度値を満足する上記以外の ITE です。それらの装置の販売は制限されませんが、使用に関しては以下の警告に留意する必要があります。

警告- これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者には適切な手段を講じるよう求められることがあります。

CE Class A (EMC)



本製品は電磁気両立性指令 2004/108/EEC に関する加盟諸国の法律の近似化の議会指令で制定された条件に適合していることが確認されています。

警告- これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者にはこの干渉を解消する適切な手段を講じるよう求められることがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

免責

本書の内容、品質、商品性、特定の目的への適合性に関して、明示的か暗示的かを問わず、いかなる保証または責任を放棄します。本書が提供する情報の信頼性は慎重に確認されていますが、正確性に欠いたとしても一切責任を負いません。本書に含まれる情報は予告なしに変更されることがあります。

AVer は、本製品または本書の使用または不使用によって発生したいかなる直接的、間接的、特別、付随的、または結果的な損害に対して、たとえこのような損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、一切責任を負いません。

商標

AVerVision は AVer Information Inc. 社の登録商標です。IBM PC は IBM 社の登録商標です。Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。Microsoft および Windows はそれぞれ Microsoft 社の登録商標および商標です。本書に記載されている他のすべての製品名または会社名は認証および説明目的のためだけで、各社の商標または登録商標となっている場合があります。

著作権

© 2011 by AVer Information Inc. 全権留保。本書の一部または全部を AVer Information Inc. 社の文書による許可なしに、いかなる手段でも、再発行、転送、検索システムへ保存、他の言語へ翻訳することを禁止します。



ゴミ箱のマークは他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。むしろ、不要になった電気および電子装置をリサイクルのために指定された集積場に持参して、不要な装置を廃棄する必要があります。リサイクルするために不要な装置を廃棄する場所に関する詳しい情報については、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製品を購入した販売店にお問い合わせください。

リモートコントロールのバッテリーの安全性に関する情報

- バッテリーは涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 使用済みのバッテリーを家庭用廃棄物として廃棄しないでください。バッテリーは特別な集積場で廃棄するか、該当する場合には販売店に返却してください。
- 長期間使用しない場合には、バッテリーを取り外してください。バッテリーの液漏れや腐食により、リモートコントロールが損傷する場合があります。バッテリーは安全に廃棄してください。
- 古いバッテリーを新しいバッテリーと一緒に使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池(炭素亜鉛)、または充電式電池(ニッケルカドミウム)など、異なるタイプのバッテリーと一緒に使用しないでください。
- バッテリーを火の中に廃棄しないでください。
- バッテリーの端子を短絡させないようにしてください。

目次

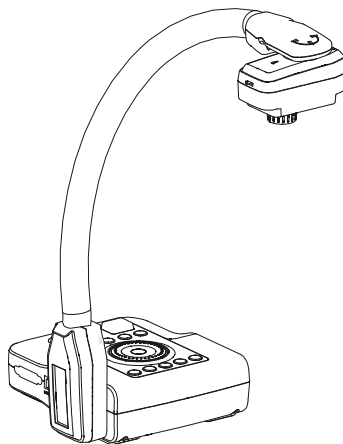
製品紹介	1
パッケージ内容	1
オプション	2
各部の紹介	3
主な仕様	4
画像	4
光学	4
電源	4
照明	4
入力/出力	4
寸法、重量	4
各部の接続	5
電源アダプタの接続	6
テレビとの接続	6
CRT/LCD/MAC ディスプレイモニタまたは LCD/DLP プロジェクタとの接続	7
コンピュータとの接続	7
USB によるコンピュータとの接続	8
顕微鏡の接続 (オプション)	8
設定と準備	9
カメラヘッド	9
LED 照明	9
赤外線センサー	9
フレキシブルグースネック式アーム	10
反射防止シート	10
リモコンの使用法	11
タッチボタン式コントロールパネル	15
OSD ナビゲーションツリー	17
イメージメニュー	17
設定メニュー	18
メニュー機能	18
CP135 のキャプチャ画像をコンピュータに取り込む	22
トラブルシューティング	22
保証について	23

製品紹介

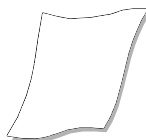
AVerVision CP135 をご購入いただきありがとうございます。本書画カメラを使えば、文書、ネガ、透明フィルム、立体物を、テレビや LCD/DLP プロジェクタに表示して、プレゼンテーションが簡単にできます。

AVerVision CP135 はビジネス、学術、医療、科学分野で使用するための理想的なプレゼンテーションツールです。

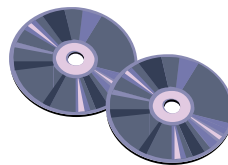
パッケージ内容



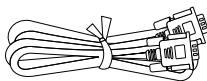
AVerVision CP135



反射防止シート



ソフトウェアおよびマニュアル CD



RGB ケーブル



USB ケーブル



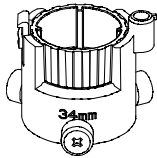
リモコン
(電池を含む)



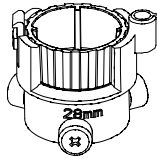
電源アダプタ

* 電源アダプタは販売国の電源コンセントの規格により異なります。

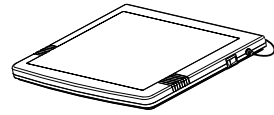
オプション



34mm 顕微鏡用アダプタ



28mm 顕微鏡用アダプタ

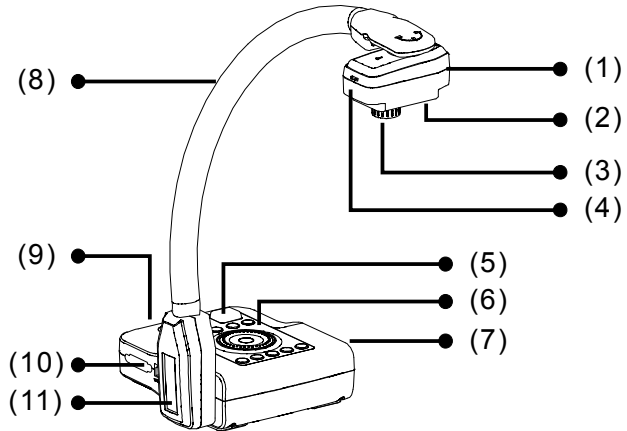


ライトボックス

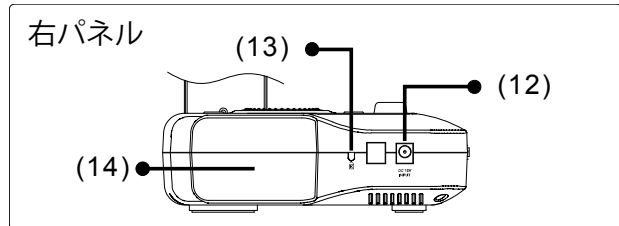
各部の紹介

AVerVision CP135 各部の名称は下図の通りです。

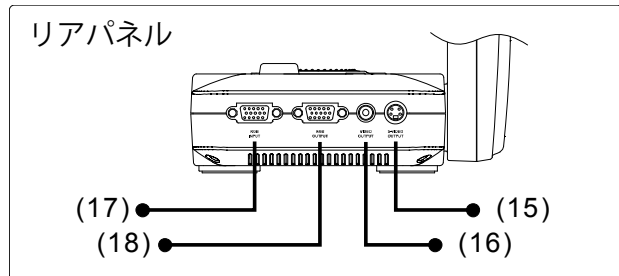
- (1) カメラヘッド
- (2) LED 照明
- (3) カメラレンズ
- (4) LED 照明スイッチ
- (5) 赤外線センサー
- (6) コントロールパネル
- (7) 右パネル
- (8) ゲースネック式 アーム
- (9) リアパネル
- (10) 左パネル
- (11) ラベルスロット



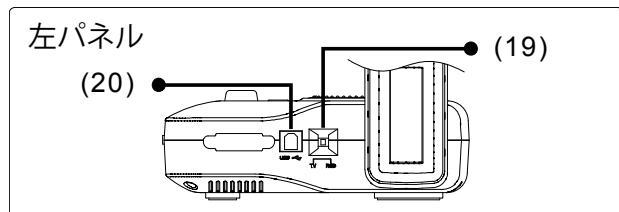
- (12) DC 12V 電源端子
- (13) 盗難防止用スロット
- (14) カメラヘッドホルダー



- (15) S-ビデオ出力端子
- (16) コンポジットビデオ出力端子
- (17) RGB 入力端子
- (18) RGB 出力端子



- (19) TV/RGB 切替スイッチ
- (20) USB ポート



主な仕様

画像

センサー	1/2" プログレシブ・スキャン CMOS
画素数	320 万画素
フレームレート	24 fps(最大)
ホワイトバランス	手動/自動
露出	自動/手動
画像モード	文字強調/写真/ハイフレーム
効果	カラー/白黒/ネガ
アナログ RGB 出力	HD 720P; XGA 60 Hz; SVGA 60 Hz; VGA 60 Hz
画像キャプチャ	最大 80 枚まで

光学

レンズ	F3.0; f _l =9.6mm
焦点方式	手動
撮影エリア	330mm x 248mm(最大)
ズーム方式	2X AVERZOOM, 8X デジタルズーム

電源

電源	DC 12V, 100-240V, 50-60Hz
消費電力	18 W(ランプ消灯時); 20 W(ランプ点灯時)

照明

ランプの種類	LED 照明
--------	--------

入力/出力

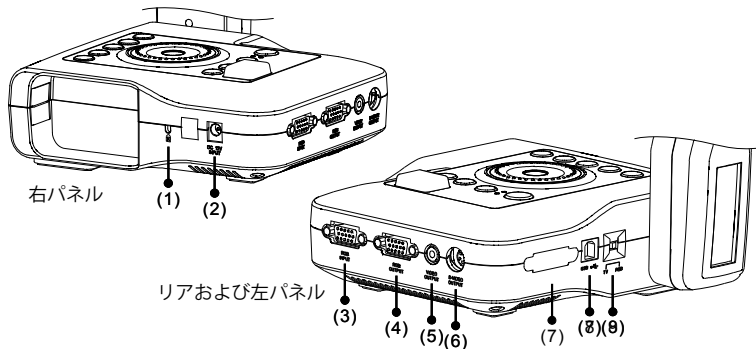
RGB 入力端子	15 ピン D-sub(VGA)
RGB 出力端子	15 ピン D-sub(VGA)
S ビデオ端子	ミニ DIN ジャック
コンポジットビデオ端子	RCA ジャック
USB	USB2.0
DC 12V 入力端子	電源ジャック

寸法、重量

使用時	480 mm x 180mm x 504mm
収納時	340mm x 230mm x 61mm
重量	2.4 kg (about 5.3 lb)

各部の接続

CP135 のリア、左、右パネルの端子を使えば、本体をコンピュータ、グラフィックディスプレイモニター、LCD/DLP プロジェクタ、テレビなどのデバイスに接続できます。CP135 のリア、左、右パネルに配置されている端子は下図の通りで、各端子の説明は表を参考してください。

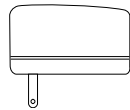
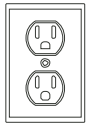


端子	説明
(1) 盗難防止用スロット	Kensington 互換セキュリティロックまたは盗難防止用デバイスに利用できます。
(2) DC 12V 電源端子	電源アダプタと接続します。
(3) RGB 入力端子	コンピュータまたはその他の装置から信号を入力し、RGB 出力端子のみをパススルーします。この端子をコンピュータの RGB/VGA 出力端子に接続します。
(4) RGB 出力端子	CRT/LCD/MAC モニタまたは LCD/DLP プロジェクタのメモリからのカメラ、RGB 入力端子または撮影した画像より出る信号を出力します。
(5) コンポジットビデオ出力端子	カメラの信号やメモリ内のキャプチャ画像をテレビなどのビデオ機器に出力します。 この端子をビデオやビデオ機器にあるビデオ入力端子に接続します。
(6) S-ビデオ出力端子	カメラの信号やメモリ内のキャプチャ画像をテレビなどのビデオ機器に出力します。 この端子をビデオやビデオ機器にある S-ビデオ端子に接続します。
(7) USB ポート	CP135 を USB カメラとして使用するか、CP135 メモリから PC に撮影した画像を転送します。この端子をコンピュータの USB 端子に接続します。
(8) TV/RGB 切替スイッチ	ビデオおよび S ビデオまたは RGB と DVI-I 出力端子のいずれかから表示ビデオを出力するように切り替えます。

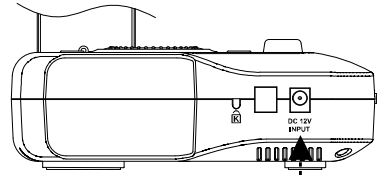
電源アダプタの接続

電源アダプタを標準の 100V～240V AC 電源に接続します。

壁のコンセント



電源アダプタ

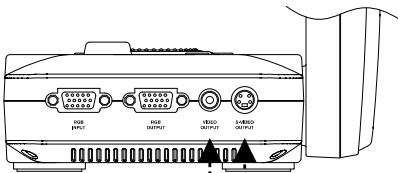


テレビとの接続

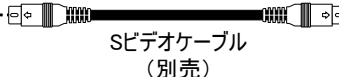
テレビや、プレゼンテーションをビデオテープに録画するためのビデオ装置 (VCR など) のビデオ、S ビデオ、または、SCART RGB 入力端子の位置を確認し、CP135 の S ビデオ出力端子またはビデオ出力端子に接続します。位置が分からない場合は、テレビやビデオ装置のユーザーマニュアルを参照してください。



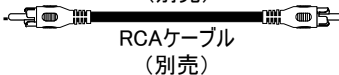
- 高品質のビデオ画像を得るため、S-ビデオ接続端子のご使用がお勧めです。
- この時、TV/RGB 切替スイッチを TV に設定することをご確認ください。



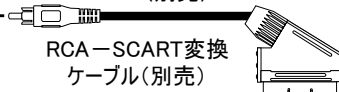
Sビデオ-SCART変換
ケーブル(別売)



Sビデオケーブル
(別売)



RCAケーブル
(別売)



RCA-SCART変換
ケーブル(別売)



プロジェクタ



テレビ



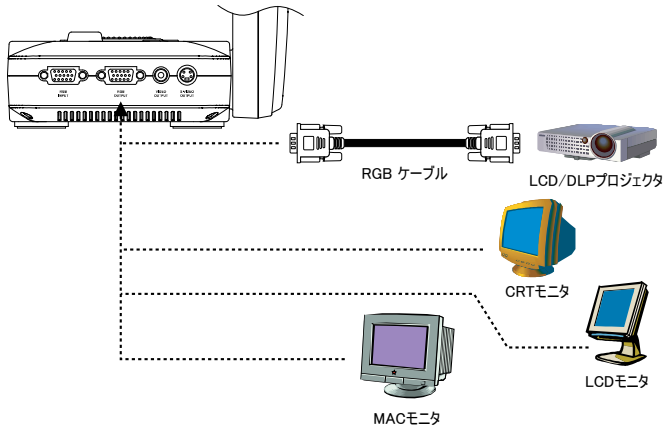
VCR

CRT/LCD/MACディスプレイモニタまたはLCD/DLPプロジェクタとの接続

写真ディスプレイデバイスの RGB(VGA)入力端子を確認し、CP135 の RGB 出力端子に接続します。



この時、TV/RGB 切替スイッチを RGB に設定することをご確認ください。

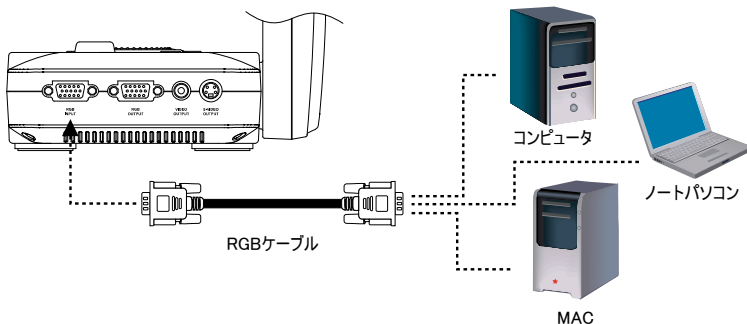


コンピュータとの接続

プレゼンテーションを表示するコンピュータやノートパソコンの RGB ビデオ出力端子を CP135 の RGB 入力端子に接続します。RGB 入力端子のビデオ信号は RGB 出力端子にストリーム送信されて、画面に表示されます。

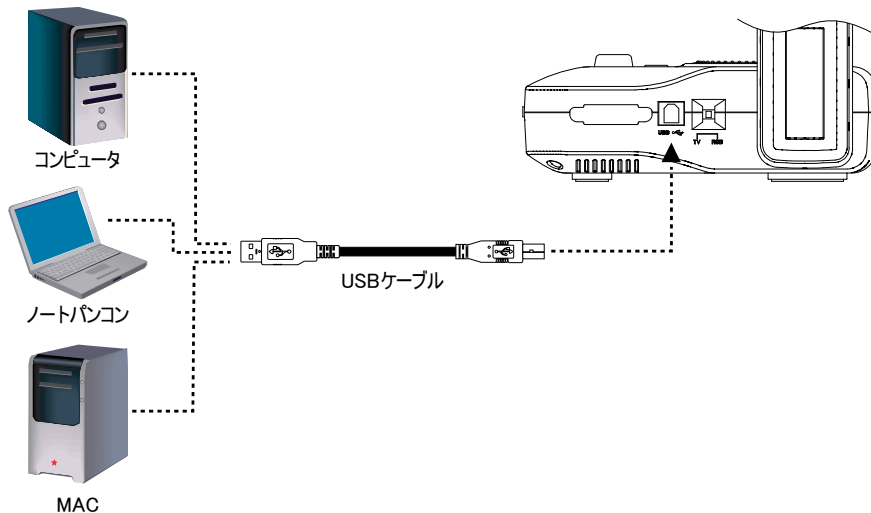


- コンピュータ画像を表示するために、コントロールパネルまたはリモコンのカメラ／PC ボタンを押して、CP135 を PC モードに切り替えます。
- ラップトップで表示画像を出力する場合、キーボード・コマンド(FN+F5)を用い、表示モードの間で切り替えます。異なるコマンドについては、お使いのラップトップのマニュアルを参照してください。



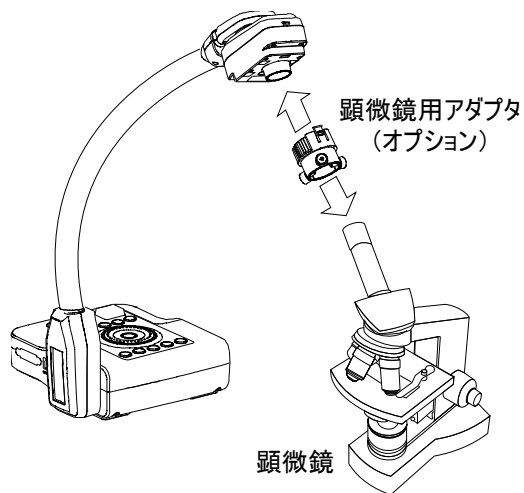
USBによるコンピュータとの接続

コンピュータまたはノートパソコンの USB ポートの場所を確認します。USB ポートを使えば、AVerVision CP135 を WEB カメラとして使用したり、内蔵メモリ内のキャプチャ画像をコンピュータにコピーすることができます。詳しくは本書内、「AVerVision CP135 内の画像を PC にコピーする」を参照してください。



顕微鏡の接続 (オプション)

CP135 に顕微鏡を接続すると、目をこらさなくても、微細な対象物を大画面に表示して検査できます。

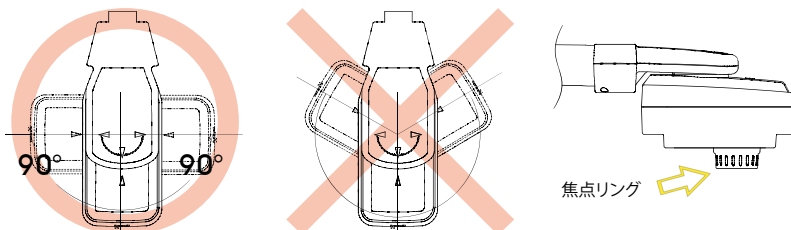


設定と準備

このセクションでは、使用条件に合わせて CP135 を調整する方法について説明します。

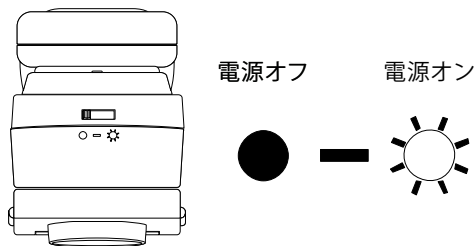
カメラヘッド

カメラヘッドを 右か左へ 90° 回転させることができます。それに、マニュアルでフォーカスを調整することによって画像品質を高めることも可能となります。



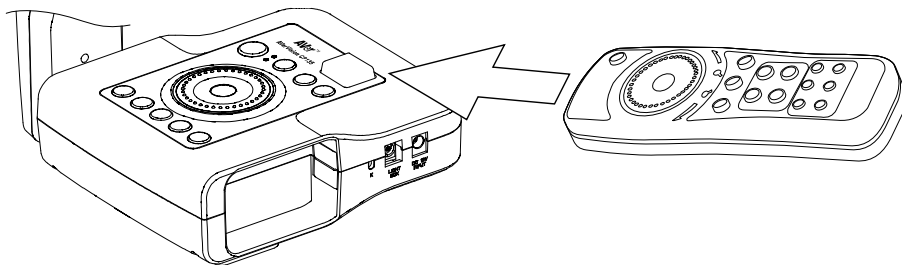
LED照明

LED 照明モジュールは白色光を提供し、暗い場所でのプレゼンテーションに最適です。



赤外線センサー

リモコンは赤外線センサーに向けて操作してください。

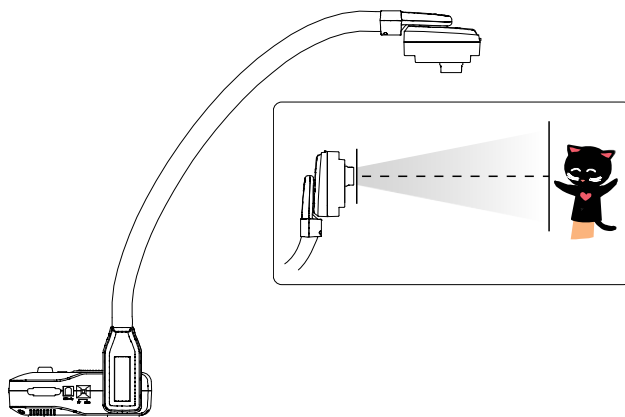


フレキシブルグースネック式アーム

フレキシブルグースネック式アームは、カメラヘッドの高さや位置を自由自在に調整できるように設計されています。

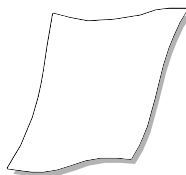


カメラヘッドを直立の位置に設定する場合、リモコンの REVERSE を押して画像を 180°回転します。また、OSD メニューでも画像を 180°回転できます。MENU を押して、IMAGE メニューリストの REVERSE を選択し、ENTER を押して画像の反転を ON/OFF します。



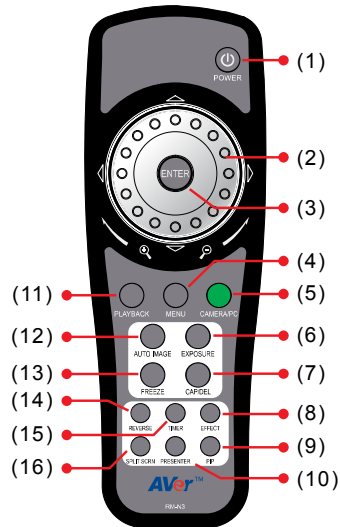
反射防止シート

反射防止シートは特殊コーティングされたシートです。このシートで、雑誌や写真など、光沢のあるオブジェクトや表面を表示する場合の反射を遮ります。光沢のある書類の上に反射防止シートを乗せるだけで、反射を遮ることができます。



リモコンの使用法

AVerVision CP135 のリモコンを使えば、3 つのプレゼンテーションモードを切り換えたり、様々な機能にアクセスしたりして、プレゼンテーションの品質を向上できます。リモコンを使用する前に、リモコンに電池（付属の単 4 電池 2 本）を入れてください。リモコンを使用するには、下の図と説明を参照してください。



機能	説明
(1) POWER	電源の ON / OFF が切り替えます。
(2) シャトルホイール	<ul style="list-style-type: none"> - シャトルホイールを右方向に回して画像をズームインし、左方向に回してズームアウトします (カメラモードと再生モードのみ)。約 200%の AVERZOOM レベルに達しても、画像を最大 1600%まで継続的にデジタルズームができます。ENTER を押すと、通常サイズ(100%)に戻ります。 - ズームインモードで、シャトルホイール▲、▼、◀、▶を押して画像をパンしたり、再生モードで、16 サムネイル画像の選択や、次や前のシングルフルスクリーンプレビューへ移動、または、OSD メインメニューやサブメニューで選択したり、調整します(詳細については、「メニュー機能」を参照してください)。
(3) ENTER	カメラモードでは、再生モードと OSD メニューから瞬時に 200%拡大、デフォルトに対応します。
(4) MENU	メニューの立ち上がり、そして OSD のメインメニューおよびサブメニューを終了します。

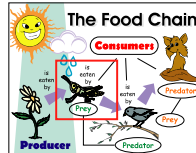
機能	説明
(5) CAMERA/PC	<p>カメラモード、再生モード、PC モードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - カメラモードは、内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。 - PC モードは、CP135 の RGB 入力端子からのビデオ信号を表示します。
(6) EXPOSURE	<p>露出を自動または手動で調整するよう選択します。カメラの露出を調整しどのくらいの光量が必要か決定します。</p>
(7) CAP/DEL	<ul style="list-style-type: none"> - カメラモードで静止画像を撮影します。撮影した画像は内蔵メモリで保存され、最大 80 枚の画像までが保存できます。尚、画像の大きさは 1024 x 768 (デフォルト)解像度あるいは 2016 x 1520 解像度で保存できません。 撮影設定が連続モードにある場合、CAP/DEL ボタンで連続した静止画像の撮影を開始したり停止したりできます。連続撮影を停止するには、画面右下コーナーのステータスボックスの「保存」のメッセージが消えた時に、CAP/DEL ボタンを押します。 画像をお好きな大きさに設定するには、MENU を押して、イメージメニューリストのキャプチャーを選択し、ENTER を押し、画像サイズを選択し、ENTER を押します。▲ボタンと▼ボタンを使って選び、ENTER を押して設定を保存します。 - 再生モードで、選択した画像を内蔵メモリから永久に削除します。
(8) EFFECT	<p>カメラモードまたは再生モードで、画像を白黒、ネガ、またはカラーに変換して表示します。</p>
(9) PIP	<p>カメラモードのメモリから撮影した画像を見るには、画面のコーナーにあるサムネイル・サイズのプレイバック画面を表示します。</p> <p>◀ボタンまたは▶ボタンで 1 つ前あるいは次の画像に動きます。ENTER により画面全体で見ます。再び ENTER を押して、PIP モードに戻ります。</p> <p>サムネイルのプレイバック画面を他のコーナーへ移動したり終了するには、PIP ボタンを繰り返して押します。また PIP モードから出てカメラモードに切り替えるには、CAMERA/PC を押します。</p>
(10) PRESENTER	<p>SPOTLIGHT または VISOR を ON/OFF にするよう選択します。一度に 1 つの機能しか使えません。PRESENTER メニューで、▲ボタンと▼ボタンを使い SPOTLIGHT または VISOR を選び、ENTER を押して選択された機能を ON/OFF にします。次に、メニューを閉じる、あるいは ON の機能を実行するために、MENU を押します。SPOTLIGHT または VISOR を終了するには、CAMERA/PC を押してカメラモードに切り替えます。</p>



機能

説明

- (10) PRESENTER - プレゼンテーション画面のフレームに、SPOTLIGHT はかぶります。シェードを選択すると、ボックスの外部分の不透明度を 0%、50%、100% に変換します。カラーはフレームの色を赤、緑、青に変更し、リサイズはフレームの大きさを変えます。
- フレームの大きさを変更するには、シャトルホイールの▲、▼、◀、▶ ボタンを押して、サイズ変更が完了した時に、ENTER を押します。フレームをプレゼンテーション画面の中で動かすには、シャトルホイール▲、▼、◀、▶ ボタンを使います。



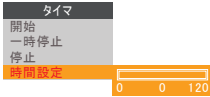
- VISOR はプレゼンテーション画面の一部をカバーします。呼び出すたびに、プレゼンテーション画面の上部が少しずつ露出します。カバーエリアの一部を露出するには、シャトルホイールの▲、▼、◀、▶ を押します。シェードを選択すると、影付きエリアの暗さを 50% から 100% の間に変更できます。



- (11) PLAYBACK 撮影された画像を 16 個のサムネイル画像のメモリから見ます。
- ▲、▼、◀、▶ ボタンを使い選択を行い、ENTER で選ばれた画像を画面全体で見ます。ズームインしたりズームアウトするには、シャトルホイールを時計の針が回る方向に回すか、その反対の方向に回します。
- スライドショーを行うには、MENU を押して、開始を選択し、ENTER を押して開始と終了を行います。
- スライドショーの間隔を変更するには、間隔を選択し、ENTER を押すと、バーが赤くなります。値を◀ボタンと▶ボタンにより上下させ、ENTER を押して設定を保存するとバーは白くなります。

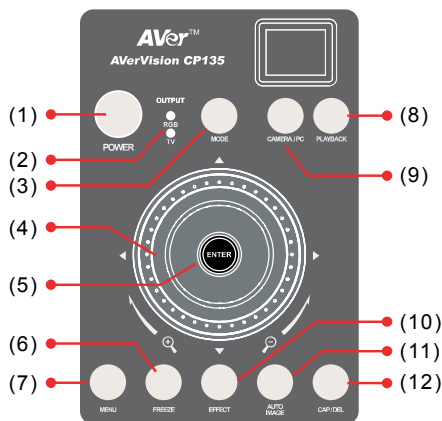


- (12) AUTO IMAGE ホワイトバランスと露出設定を自動的に調整・設定します。
- (13) FREEZE カメラの画像を一時停止と再開に切り換えます。
- (14) REVERSE 画像を 180°回転させます。(カメラモードの場合のみ)


機能	説明
(15) TIMER	<p>タイマーをタイマーで設定／開始／一時停止／停止します。タイマーはカウントダウンがゼロになると、自動的にカウントアップして、経過時間を表示します。タイマーは異なるモードに切り替えても作動を継続します。</p> <p>TIMER メニューで時間設定で時間の値を設定し、START でカウントダウンのタイマーが開始します。PAUSE/RESUME で一時的に停止または継続し、STOP で終了します。</p> <p>タイマーの値を設定するには、SET TIME を選択し、ENTER を押し、バーは赤くなります。値を◀ボタンと▶ボタンで上下させ、ENTER を押し設定を保存すると、バーは白くなります。</p>  <p>画面右下コーナーのステータスボックスでカウントダウンのタイマーが開始すると、タイマーのフォーマットが時、分、秒で表示されます。</p>
(16) SPLIT SCRN	<p>画面を2つの部分に区切ります。一方は CP135 カメラからの生画像を表示し、他方は8つのサムネイル画像のメモリからの撮影された画像を表示します。</p> <p>▲、▼、◀、▶ボタンを使い選択を行い、ENTER で選ばれた画像を分割画面モードで拡大します。拡大画像を水平または垂直にパン撮りするには、それぞれ◀ボタンと▶ボタンあるいは▲ボタンと▼ボタンを使います。</p> <p>異なる分割画面の種類に切り替えたり画面を閉じる場合、SPLIT SCRN ボタンを繰り返し押します。さらに CAMERA/PC を押し SPLIT 画面モードを終了したりカメラモードに切り替えたりできます。</p>

タッチボタン式コントロールパネル

CP135 の上部に配置されているタッチボタン式コントロールパネルを使えば、よく使われる機能が素早くアクセスできます。



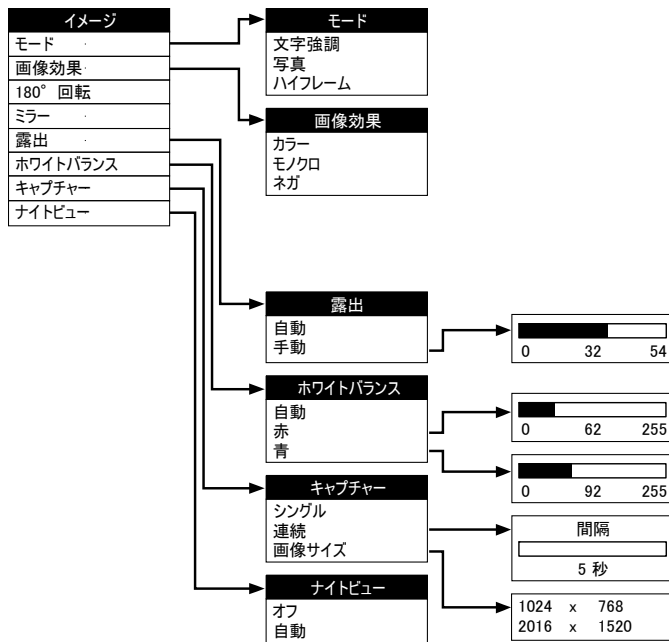
機能	説明
(1) POWER	電源の ON / OFF が切り替えます。
(2) Output LED Indicator	どの端子にビデオ信号が送信されているか、テレビの RGB スイッチへの設定で示します。 - ビデオ信号が CP135 の RGB OUTPUT 端子を通して送られることを RGB は示します。 - ビデオ信号が CP135 の VIDEO と S ビデオ出力端子を通して送られることをテレビは示します。
(3) MODE	文字強調モード、写真モード、ハイフレームモードの間で切り替わります。 a. Text (文字強調) で、隣接する画素の強度を修正して、全体的に鮮明でクリアな画像にします。 b. Graphics (写真) で、隣接する画素の変化度を調整し、スムーズな画像にします。 c. High Frame (ハイフレーム) - フレームレートのキャプチャを増大させ、動作を視覚的に追跡して、機敏に反応させます。このモードを使用する場合は十分な光量が必要です。
(4) シャトルホイール	- シャトルホイールを右方向に回して画像をズームインし、左方向に回してズームアウトします (カメラモードと再生モードのみ)。約 200% の AVERZOOM レベルに達しても、画像を最大 1600% まで継続的にデジタルズームができます。ENTER を押すと、通常サイズ (100%) に戻ります。 - ズームインモードで、シャトルホイール ▲、▼、◀、▶ を押して画像をパンしたり、再生モードで、16 サムネイル画像の選択や、次や前のシングルフルスクリーンプレビューへ移動、または、OSD メインメニューやサブメニューで選択したり、調整します (詳細については、「メニュー機能」を参照してください)。

機能	説明
(5) ENTER	カメラモードでは、再生モードと OSD メニューから瞬時に 200%拡大、デフォルトに対応します。
(6) FREEZE	カメラの画像を一時停止と再開に切り換えます。
(7) MENU	メニューの立ち上がり、そして OSD のメインメニューおよびサブメニューを終了します。
(8) PLAYBACK	<p>撮影された画像を 16 個のサムネイル画像のメモリから見ます。</p> <p>▲、▼、◀、▶ ボタンを使い選択を行い、ENTER で選ばれた画像を画面全体で見ます。ズームインしたりズームアウトするには、シャトルホイールを時計の針が回る方向に回すか、その反対の方向に回します。</p> <p>スライドショーを行うには、MENU を押して、開始 を選択し、ENTER を押して開始と終了を行います。</p> <p>スライドショーの間隔を変更するには、間隔 を選択し、ENTER を押すと、バーが赤くなります。値を ◀ ボタンと ▶ ボタンにより上下させ、ENTER を押して設定を保存するとバーは白くなります。</p> 
(9) CAMERA/PC	<p>カメラモード、再生モード、PC モードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - カメラモードは、内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。 - PC モードは、CP135 の RGB 入力端子からのビデオ信号を表示します。
(10) EFFECT	本体カメラ映像表示中にこのボタンを押すと、「白黒→ネガタイプ→カラー」の順で切り替わります。
(11) AUTO IMAGE	ホワイトバランスと露出設定を自動的に調整・設定します。
(12) CAP/DEL	<ul style="list-style-type: none"> - カメラモードで静止画像を撮影します。撮影した画像は内蔵メモリで保存され、最大 80 枚の画像までが保存できます。尚、画像の大きさは 1024 x 768 (デフォルト)解像度あるいは 2016 x 1520 解像度で保存できます。 <p>撮影設定が連続モードにある場合、CAP/DEL ボタンで連続した静止画像の撮影を開始したり停止したりできます。連続撮影を停止するには、画面右下コーナーのステータスボックスの「保存」のメッセージが消えた時に、CAP/DEL ボタンを押します。</p> <p>画像をお好きな大きさに設定するには、MENU を押して、IMAGE メニューリストの CAPTURE を選択し、ENTER を押し、IMG SIZE を選択し、ENTER を押します。▲ ボタンと ▼ ボタンを使って選び、ENTER を押して設定を保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 再生モードで、選択した画像を内蔵メモリから永久に削除します。

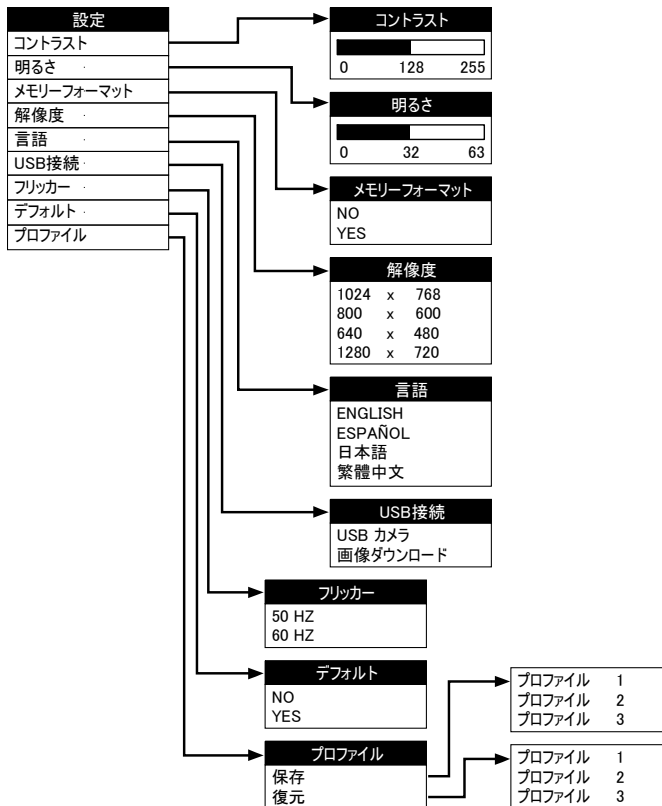
OSDナビゲーションツリー

CP135にはタブメニューが2つあります。イメージタブと設定タブです。テレビ出力では、設定メニューリストでは解像度の選択肢は無効にされます。

イメージメニュー



設定メニュー



メニュー機能

CP135 の MENU 機能は、画面表示の微調整、タイマーの設定、OSD 言語の選択などが簡単にコントロールできます。MENU ボタンを押してメインメニューあるいはサブメニュー表示を呼び出したり終了したりします。◀ボタンまたは▶ボタンでイメージか設定メニューリストを選択します。選択を確定するか設定を変更するには、ENTER を押します。設定の調整には ◀ボタンまたは▶ボタンを押します。

OSD メニュー

説明

モード
文字強調
写真
ハイフレーム

イメージ > モード

▲ボタンまたは▼ボタンを使って文字強調モード、写真モード、ハイフレームモードのいずれかを選択します。ENTER で選択を確定します。

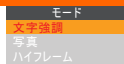
文字強調 で、隣接する画素の強度を修正して、全体的に鮮明でクリアな画像にします。

写真 で、隣接する画素の変化度を調整し、スムーズな画像にします。

ハイフレーム フレームレートのキャプチャを増大させ、動作を視覚的に追

OSD メニュー

説明

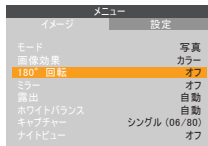


跡して、機敏に反応させます。このモードを使用する場合は十分な光量が必要です。



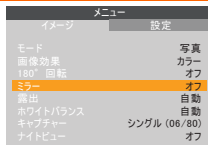
イメージ > 画像効果

▲ボタンまたは▼ボタンを使って、画像をカラー、モノクロ(白黒)あるいはネガで、カメラモードで選択して表示します。次に **ENTER** を押して選択を確定します。



イメージ > 180°回転

ENTER を押して 180°回転をオン/オフにします。反転は画像をカメラモードで 180°回転させます。



イメージ > ミラー

ENTER を押してミラーをオン/オフにします。ミラーはカメラモードで画像を反転します。

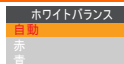


イメージ > 露出

自動あるいは手動を▲ボタンまたは▼ボタンで選択します。次に選択を確定するために **ENTER** を押します。

自動モードでどのくらいの光量が必要か定めるために、自動的にカメラ露出を調整します。

手動モードで露出度を手動で調整します。**ENTER** を押すと、バーは赤くなります。露出度を上下させるために◀ボタンと▶ボタンを使います。**ENTER** を押して設定を保存すると、バーは白くなります。**MENU** を押してメニューを閉じます。



イメージ > ホワイトバランス v

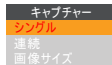
▲ボタンまたは▼ボタンを使って、赤色と青色を自動あるいは手動で調整して、光条件または色温度に合わせます。次に **ENTER** を押して選択を確定します。

赤色または青色のレベルを手動で調整するために、赤または青を選択します。**ENTER** を押すとバーは赤くなります。レベルを上下させるには◀ボタンと▶ボタンを使います。次に **ENTER** を押して設定を保存すると、バーは白くなります。



OSD メニュー

説明



イメージ > キャプチャー

シングルあるいは連続の撮影モードを選択するために▲ボタンまたは▼ボタンを使います。画像サイズで画像の画素サイズを選択します。

シングルを選択して静止画像を1枚だけ保存します。連続を選択して、内蔵メモリがいっぱいになるか、または、CAP/DEL ボタンをもう一度押しして停止するまで、静止画像を連続して保存します。

連続モードでは ENTER を押すとバーは赤くなります。フレーム間の撮影時間の間隔を増減するには◀ボタンと▶ボタンを使います。ENTER を押して設定を保存するとバーは白くなります。時間の間隔は5秒～600秒で設定できます。



画像サイズでは、ENTER を押して、▲ボタンと▼ボタンを使って選択を行います。次に ENTER を押して設定を保存します。



イメージ > ナイトビュー

▲ボタンまたは▼ボタンを使って、ナイトビューをオフまたは自動にします。

暗い場所でプレゼンテーションをする場合は、ナイトビューを使って、物体の画像を通常の光条件のように表示できます。CP135 は、露出を自動調整して条件が悪い場合に補正することができます。しかし、撮影した画像はスローモーションで表示されます。



設定 > コントラスト

▶ボタンまたは◀ボタンを使って、明暗の状態の違いを強調あるいは減少します。次に ENTER を押します。コントラストレベルは最大 255 まで調整できます。



設定 > 明るさ

▶ボタンまたは◀ボタンを使って、輝度レベルを上げたり下げたりして、画像の見易さを改善します。次に ENTER を押します。輝度レベルは最大 63 まで調整できます。



設定 > メモリーフォーマット

▲ボタンまたは▼ボタンを使って、NO で終了あるいは YES で内蔵メモリに保存された全画像をフォーマット化し削除します。次に ENTER を押します。

プロセスを終了するには、画面右下コーナーの「FORMAT」というメッセージが消えるまで待ちます。



設定 > 解像度

▲ボタンまたは▼ボタンを使って、異なる支援される表示解像度を選び、ENTER を押して選択します。

この選択はテレビ出力モードでは無効になります。

OSD メニュー

説明



設定 > 言語

▲ ボタンまたは▼ ボタンを使って、異なる支援される言語を選び、**ENTER** を押して選択します。



設定 > USB 接続

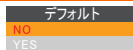
▲ ボタンまたは▼ ボタンを使って、USB カメラと画像ダウンロードの間で USB の機能を選択します。次に **ENTER** を押します。

- USB カメラはコンピュータ・ウェブカメラとして、あるいは弊社のソフトウェアと共に、ビデオ録画と静止画像の撮影に使われます。
- 画像ダウンロード-撮影された画像を内蔵メモリからコンピュータのハードディスクに転送します。



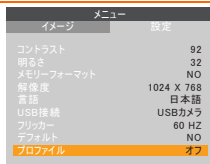
設定 > フリッカー

▲ ボタンまたは▼ ボタンを使って、50Hz あるいは 60Hz から選択します。ディスプレイデバイスによっては高いリフレッシュレートに対応できません。出力を他のリフレッシュレートに切り替えられると、画像が数回ちらつきます。



設定 > デフォルト

▲ ボタンまたは▼ ボタンを使って、**YES** を選択しデフォルトにするか、**NO** で終了し、**ENTER** を押して選択を行います。



設定 > プロファイル

ENTER を押し▲ ボタンまたは▼ ボタンで**保存**あるいは**復元**を選択します。次に **ENTER** を再び押して選択を行います。

保存 - 現行の設定を選択されたプロファイル番号で保存します。効果、モード、輝度、コントラストの設定のみが保存できます。

復元 - 設定を選択されたプロファイル番号にリストアします。

保存/復元の選択では、▲ ボタンまたは▼ ボタンを使って、3 つのプロファイル番号から設定を保存/復元する選択をします。次に **ENTER** を押します。



CP135 のキャプチャ画像をコンピュータに取り込む

内蔵メモリのキャプチャ画像を PC に取り込むことができます。



: USB ケーブルを接続する前に、以下の指示に**必ず**従ってください。

1. ケーブルを接続する前に「USB 選択」を「写真転送」に**必ず**設定してください。

「USB 選択」を「画像のダウンロード」に設定するには、メニュー > アドバンス > USB セレクトを選択し、(▶)> を押して写真転送を選択してから (▶) で決定します。

2. スクリーンの右下角に「画像のダウンロード」が表示されると、USB ケーブルを使って CP135 とコンピュータを接続できます。
3. USB ケーブルを接続すると、システムは CP135 を新しいリムーバブルディスクとして自動的に検出します。
4. これで、CP135 のキャプチャ画像をコンピュータに取り込めるようになります。

トラブルシューティング

このセクションでは、CP135 の使用時に発生するかもしれない一般的な問題の解決方法について説明します。

プレゼンテーション画面に画像が表示されません。

1. 本書に表示されているようにすべてのコネクタが正しく接続されているかどうかを確認します。
2. ディスプレイ出力装置のオン/オフスイッチを確認します。
3. ディスプレイ出力装置の設定を確認します。
4. ノートパソコンまたはコンピュータから表示出力装置を用いてプレゼンテーションを行う場合、コンピュータの RGB(VGA)出力から CP135 の RGB 入力へのケーブル接続を確認し、CP135 が PC モードにあることを確実にします。

CP135 の設定を完了し、すべての接続がマニュアルに指定されている通りになっていることを確認しましたが、希望のプレゼンテーション画面で画像を表示することができません。

1. スタンバイモードでは、ユニット POWER(電源) ボタンがオレンジ色に変わります。POWER(電源) ボタンをもう一度押して、オンにします。LED ライトが青に変わります。
2. デフォルトのカメラ表示解像度は 1024x768 に設定されています。出力装置がこの解像度に対応していない場合、画像は投影されません。MENU および ▶ ボタンを使って、解像度設定を変更してください。
3. ディスプレイ出力デバイスがテレビまたはその他のアナログデバイス上にある場合は、テレビ/RGB ディップスイッチをテレビに切り替えます。

プレゼンテーション画面の歪んだ画像や不鮮明な画像が表示されます。

1. 必要なら、変更したすべての設定を最初の既定値にリセットしてください。(詳しい手順についてはメニュー機能を参照してください。)
2. 可能な場合は、輝度またはコントラストメニュー機能を使って歪みを修正します。

プレゼンテーション画面にコンピュータ信号が表示されません。

1. ディスプレイ装置、CP135、コンピュータ間のすべてのケーブル接続を確認します。
2. コンピュータと CP135 を接続してから、コンピュータの電源を入れます。
3. ノートパソコンについては、FN+F5 を繰り返し押して、表示モードの間を切り替え、コンピュータ画像をプレゼンテーション画面に表示します。異なるコマンドについては、お使いのラップトップのマニュアルを参照してください。

カメラモードから PC モードに切り替えると、プレゼンテーション画面に PC やノートパソコンのデスクトップ画像が正しく表示されません。

1. PC またはノートパソコンのデスクトップに戻って、デスクトップ上でマウスを右クリックし、「プロパティ」を選択してから、「設定」タブを選択します。「2」のモニタをクリックして「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のボックスをオンにします。
2. その後、もう一度 PC またはノートパソコンに戻り、デスクトップ上でマウスを再び右クリックします。
3. このとき、「グラフィックオプション」、「出力先」、「Intel® Dual Display Clone」の順に選択してから、「モニタ + ノートパソコン」を選択します。

CP135 からコンピュータに、どのようにして画像を転送しますか。画像をダウンロードし、USB ケーブルを外すと、CP135 がカメラモードにリセットするのは正常ですか。

USB CONNECTION メニューの SETTING タブで「IMG DOWNLOAD」を選択します。次に、CP135 からコンピュータへ撮影した画像を転送するために USB ケーブルを接続します。CP135 は自動的にリセットしカメラモードに切り替わります。

保証について

該当する製品の購入日から「Warranty Period of AVer Product Purchased (購入された AVer 製品の保証期間)」セクションに定める期間、AVer Information Inc. (「AVer」) は、該当する製品 (「製品」) が、AVer の製品向け文書に実質的に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上りの欠陥がないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するものではありません。この節における使用者の唯一の救済および AVer の全責任は、AVer の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。この保証は、(a) 製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたりした場合、または (b) 本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリー、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、(a) 事故、乱用、誤用、粗略な取扱い、火、水、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、製品に含まれる指示に従わないこと、(b) 製造元の担当者以外の者によるサービスの誤用、(c) 出荷による損傷 (そうした賠償は運送業者に請求しなければならぬ)、または (d) 製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、(a) 本来の保証期間、または (b) 修理または交換した製品の出荷日から 30 日以内とします。

保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護士費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品が AVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合にのみ適用されます。特に、保証は、(i) 事故、異常な物理的、電気的、電磁気的ストレス、粗略な取扱い、誤用、(ii) AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、(iii) AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または (iv) AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗示的か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵害を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対するAVerの責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者がAVer に支払った額を超えないものとします。

準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。



保証期間については、保証書を参照してください。
